

2025年8月8日

平野石油株式会社

日本カーソリューションズ株式会社

平野石油、日本カーソリューションズ、ユーグレナが 次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」の販売について基本合意書を締結

平野石油株式会社（代表取締役 平野賢一郎、以下、平野石油）、日本カーソリューションズ株式会社（代表取締役社長 高島俊史、以下、NCS）、株式会社ユーグレナ（代表取締役社長 出雲充、以下、ユーグレナ）は、ユーグレナが開発し、供給する次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」の販売について共同で推進することについて基本合意書を締結いたしました。

今回、ユーグレナが開発、提供する「サステオ」は、軽油に HVO^{※1} を 51% 混合し、燃料に伴う CO₂ 排出量を従来の軽油より 51% 削減可能^{※2} な次世代バイオディーゼル燃料です。また、既存のディーゼル車で公道走行が可能なドロップイン燃料^{※3} として、日本の運輸部門の温室効果ガス排出量削減への貢献が期待されます。

平野石油は「サステオ」をはじめとした燃料配送供給及び、緊急時配送や燃料少量保有サポートなどの BCP^{※4} 事業に強みを持ち、全国エリアでサービス展開する燃料販売事業者です。NCS は EV100^{※5} に加盟している NTT 株式会社を株主とし、法人向け EV リース、EV を活用した BCP ソリューション及び EV へのリプレイスができないモビリティへの脱炭素ソリューション提供に強みを持っております。3 社の取扱商品や知見を掛け合わせることで、企業のモビリティ使用に伴う CO₂ 排出量削減と災害時の事業継続性の向上を両立できるソリューションを提供し、低炭素社会及びレジリエンス社会の実現を目指します。

■今回活用する「サステオ」について

食料との競合や森林資源破壊を起こさない持続可能性に優れたバイオマス原料を由来とする HVO を軽油規格に適合するよう、51% 混合し、公道走行が可能な次世代バイオディーゼル燃料です。「サステオ」に使用している HVO は ISCC^{※6} の認定を受けており、国際的にも持続可能な燃料として認められている他、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）ではバイオマスを原材料とする燃料の燃焼時 CO₂ 排出量は報告対象外となるため、CO₂ 排出量削減効果を 51% とすることができます。

サステオ



HVO51%混合の「サステオ」イメージ



密度規格の差：HVO、JIS規格、地方税法

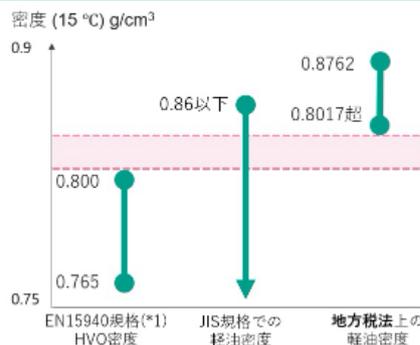


図1：HVOおよび軽油における密度規格イメージ（EN15940規格とは、欧州標準化委員会が定義するHVO等の規格）

■「燃料少量保有サポート」について

緊急時配送に加えて、災害に備え、お客様の敷地・建物内に、消防署等の公的機関への届け出不要かつ、危険物取扱者の資格が不要な範囲に収まる少量の燃料を備蓄する等、BCP 対策をトータルでサポートさせていただきます。日常的な使用及び定期的な補充により、いつでも一定量の燃料を使用することが可能となります。保有する燃料を「サステオ」にすることにより、CO₂ 排出量削減にもつながります。



- ※1 水素化植物油（Hydrotreated Vegetable Oil）。植物油や廃食油と水素を高温高压で反応（水素化処理）させ、酸化に対して安定になるなど物性が改良された合成燃料
- ※2 地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）では、バイオマスを原材料とする燃料の燃焼時 CO₂排出量は報告対象外となるため、バイオ燃料である HVO を 51%混合した「HVO51%混合製品」は CO₂ 排出量削減効果を 51%とすることができる
- ※3 エンジン等の内燃機関を改修せず従来燃料の代替として利用できる燃料
- ※4 Business Continuity Plan、事業継続計画
- ※5 企業による電気自動車の使用や環境整備促進をめざす国際イニシアティブ。NTT 株式会社は 2018 年に電気通信事業者として世界で初めて加盟
- ※6 持続可能性および炭素に関する国際認証で、バイオマスや再生材などが持続可能な原料であることをサプライチェーン上で管理・担保する認証制度

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先	
平野石油株式会社 営業企画推進部 E-mail : info@hiranosekiyu.com	日本カーソリューションズ株式会社 経営企画部 E-mail : ncs-pr@ncsol.co.jp